

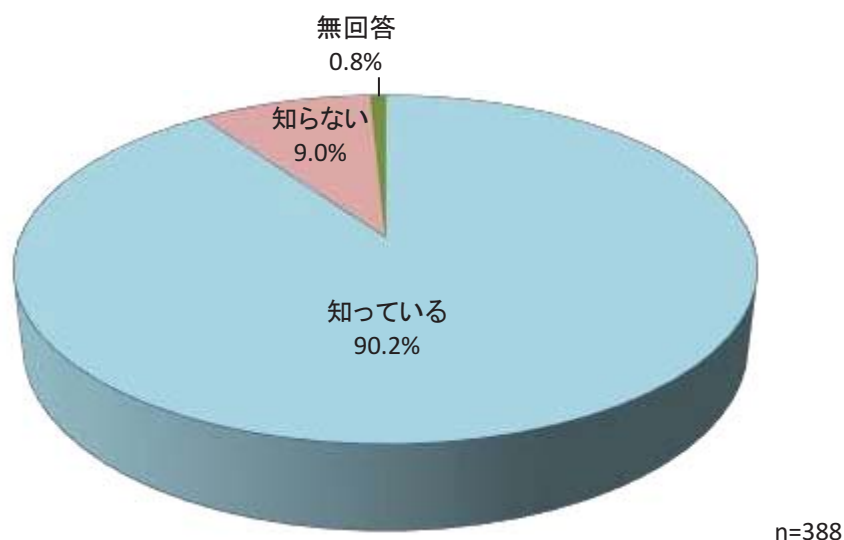
17. いちご一会とちぎ国体・いちご一会とちぎ大会について

(1) 栃木県で国体が開催されることの認知度

◇ 「知っている」が約9割

問6 1	あなたは、栃木県で国体が開催されることを知っていますか。	(○は1つ)
		n=388
1	知っている	90.2%
2	知らない	9.0%
	(無回答)	0.8%

<図IV-17-1>全体



栃木県で国体が開催されることの認知度については、「知っている」が90.2%、一方、「知らない」は9.0%であった。(図IV-17-1)

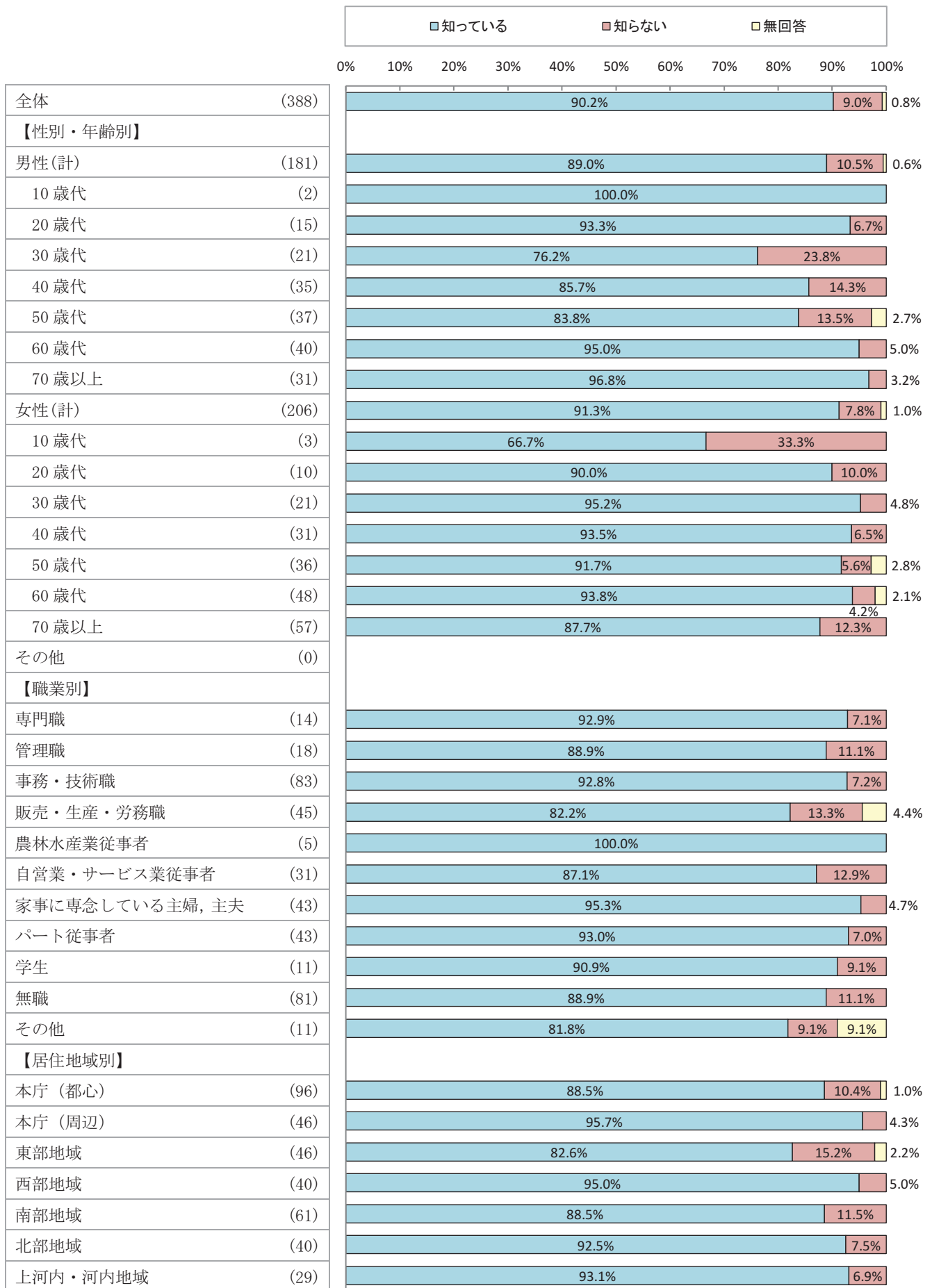
<参考>

性別・年齢別で見ると、「知っている」は<男性/10歳代>が100.0%で最も高く、次いで<男性/70歳以上>が96.8%と続いている。一方、「知らない」は<女性/10歳代>が33.3%で最も高く、次いで<男性/30歳代>が23.8%と続いている。(図IV-17-2)

職業別で見ると、「知っている」は<農林水産業従事者>が100.0%で最も高く、次いで<家事に専念している主婦、主夫>が95.3%と続いている。一方、「知らない」は<販売・生産・労務職>が13.3%で最も高く、<自営業・サービス業従事者>が12.9%と続いている。(図IV-17-2)

居住地域別で見ると、「知っている」は<本庁(周辺)>が95.7%で最も高く、次いで<西部地域>が95.0%と続いている。一方、「知らない」は<東部地域>が15.2%で最も高く、次いで<南部地域>が11.5%と続いている。(図IV-17-2)

<図IV-17-2>性別・年齢別／職業別／居住地域別

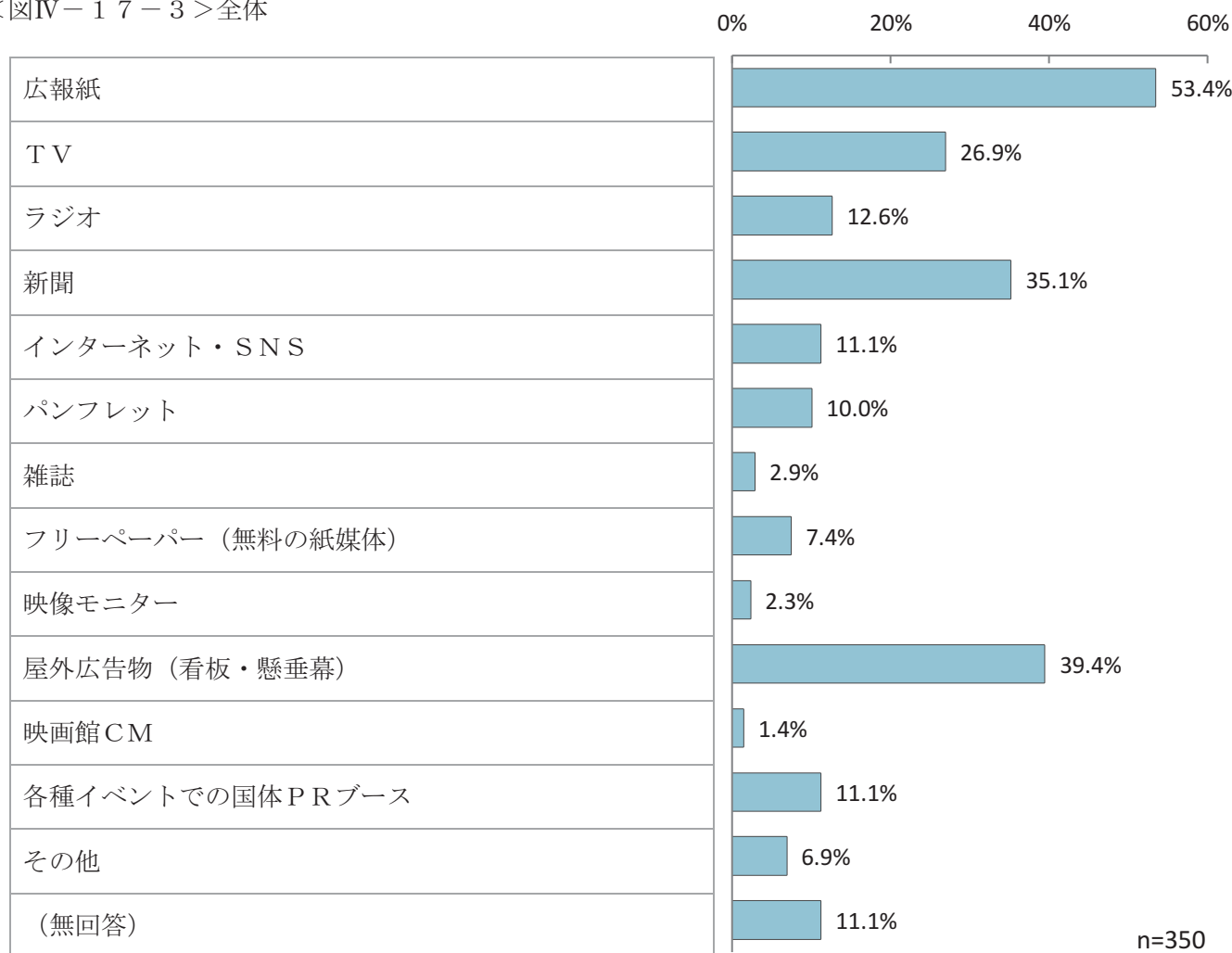


(2) 国体開催情報の入手手段

◇ 「広報紙」が5割強

問6 2	問6 1で「1 知っている」と答えた方にお聞きします。あなたは国体が栃木県で開催されることを、どのような広報手段で知りましたか。	(〇はいくつでも)	n=350
1	広報紙		53.4%
2	TV		26.9%
3	ラジオ		12.6%
4	新聞		35.1%
5	インターネット・SNS		11.1%
6	パンフレット		10.0%
7	雑誌		2.9%
8	フリーペーパー（無料の紙媒体）		7.4%
9	映像モニター		2.3%
10	屋外広告物（看板・懸垂幕）		39.4%
11	映画館CM		1.4%
12	各種イベントでの国体PRブース		11.1%
13	その他		6.9%
	（無回答）		11.1%

<図IV-17-3>全体



国体開催情報の入手方法については、「広報紙」が 53.4%で最も高く、次いで「屋外広告物（看板・懸垂幕）」が 39.4%と続いている。（図IV-17-3）

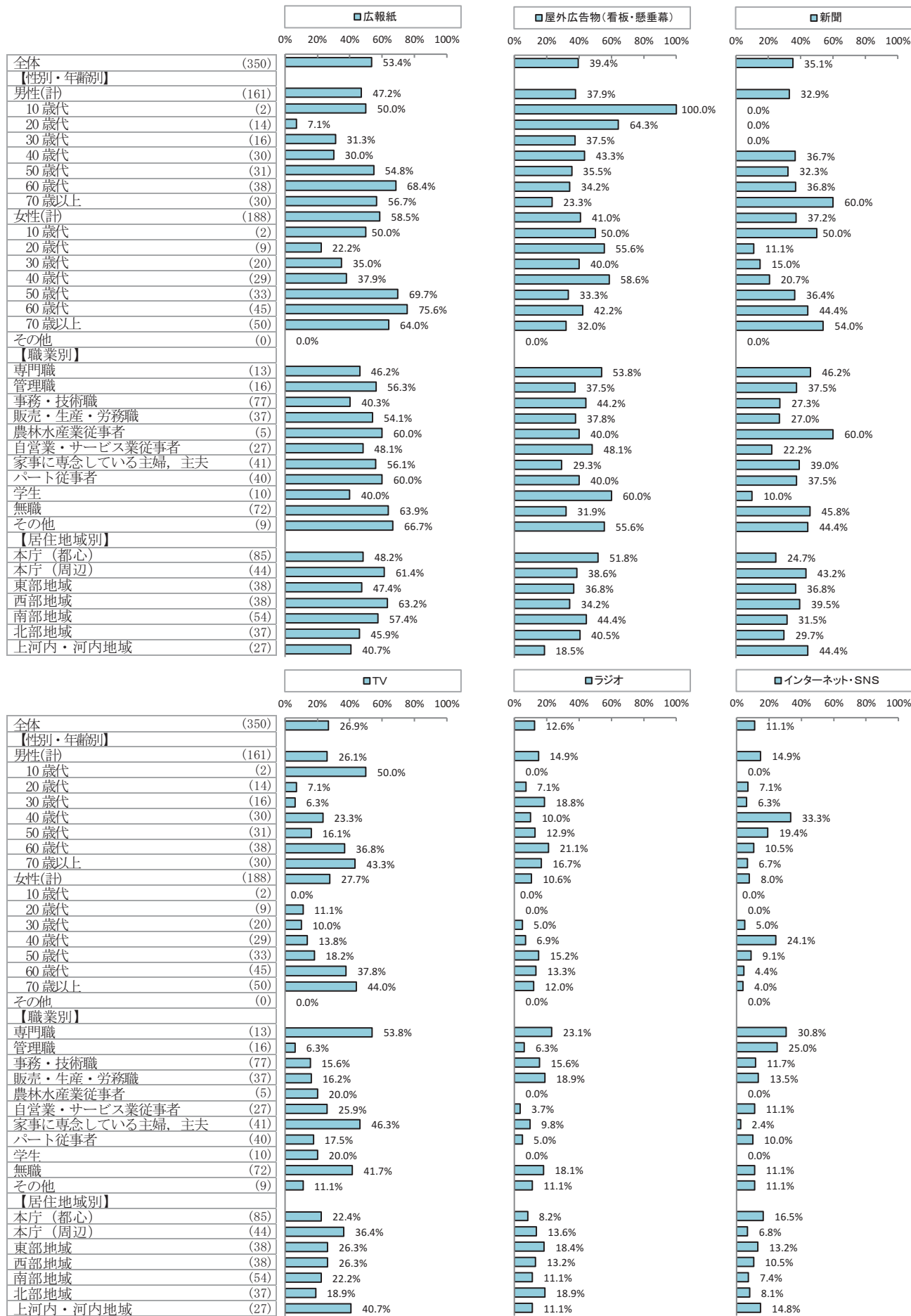
<参考>

性別・年齢別で見ると、「広報紙」は<女性/60歳代>が 75.6%で最も高く、次いで<女性/50歳代>が 69.7%と続いている。「屋外広告物（看板・懸垂幕）」は<男性/10歳代>が 100.0%で最も高く、次いで<男性/20歳代>が 64.3%と続いている。（図IV-17-4）

職業別で見ると、「広報紙」は<その他>を除くと<無職>が 63.9%で最も高く、次いで<農林水産業従事者>と<パート従事者>がいずれも 60.0%と続いている。「屋外広告物（看板・懸垂幕）」は<学生>が 60.0%で最も高く、次いで<その他>を除くと<専門職>が 53.8%と続いている。（図IV-17-4）

居住地域別で見ると、「広報紙」は<西部地域>が 63.2%で最も高く、次いで<本庁（周辺）>が 61.4%と続いている。「屋外広告物（看板・懸垂幕）」は<本庁（都心）>が 51.8%で最も高く、次いで<南部地域>が 44.4%と続いている。（図IV-17-4）

<図IV-17-4>性別・年齢別/職業別/居住地域別（上位6項目）

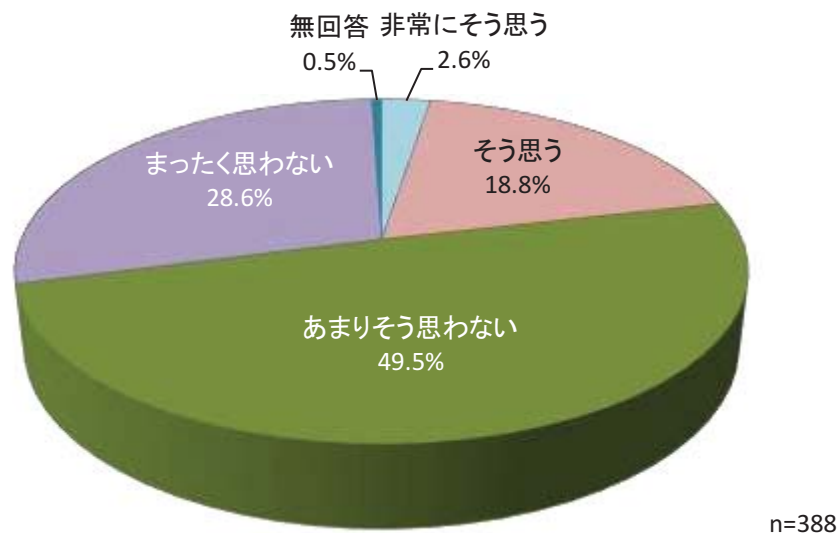


(3) とちぎ国体へのボランティアとしての参加意向

◇ 「あまりそう思わない」と「まったく思わない」を合わせた【思わない(計)】が8割弱

問63	あなたは、ボランティア活動（花いっぱい運動・環境美化活動など）で、とちぎ国体に参加したいと思いますか。	(○は1つ)
		n=388
1	非常にそう思う	2.6%
2	そう思う	18.8%
3	あまりそう思わない	49.5%
4	まったく思わない	28.6%
	(無回答)	0.5%

<図IV-17-5>全体



とちぎ国体へのボランティアとしての参加意向については、「非常にそう思う」が2.6%、「そう思う」が18.8%で、これらを合わせた【そう思う(計)】は21.4%であった。一方、「あまりそう思わない」が49.5%、「まったく思わない」が28.6%で、これらを合わせた【思わない(計)】は78.1%であった。(図IV-17-5)

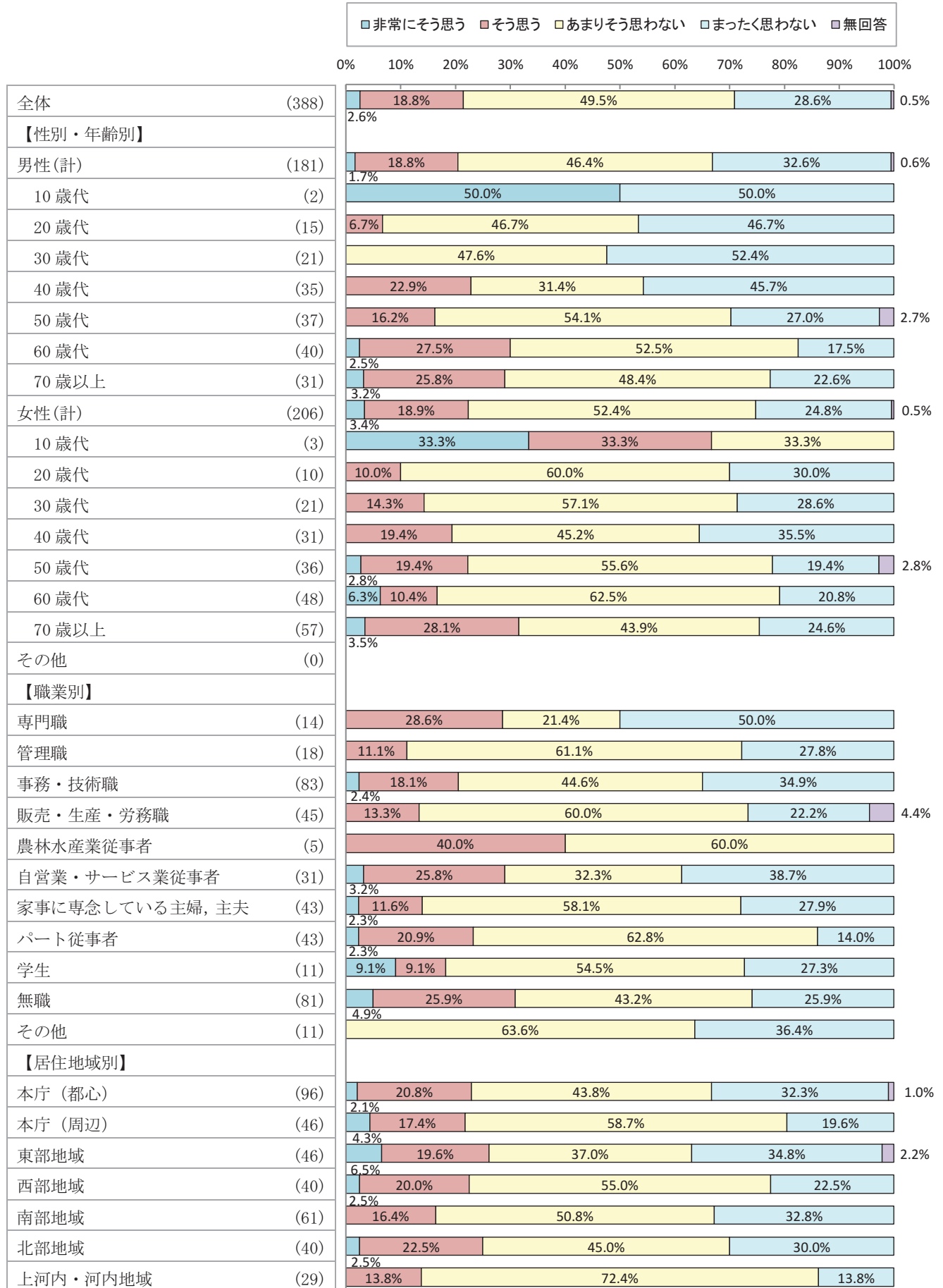
<参考>

性別・年齢別で見ると、【そう思う(計)】は<女性/10歳代>が66.6%で最も高く、次いで<男性/10歳代>が50.0%と続いている。一方、【思わない(計)】は<男性/30歳代>が100.0%で最も高く、次いで<男性/20歳代>が93.4%と続いている。(図IV-17-6)

職業別で見ると、【そう思う(計)】は<農林水産業従事者>が40.0%で最も高く、次いで<無職>が30.8%と続いている。一方、【思わない(計)】は<その他>を除くと<管理職>が88.9%で最も高く、<家事に専念している主婦、主夫>が86.0%と続いている。(図IV-17-6)

居住地域別で見ると、【そう思う(計)】は<東部地域>が26.1%で最も高く、次いで<北部地域>が25.0%と続いている。一方、【思わない(計)】は<上河内・河内地域>が86.2%で最も高く、次いで<南部地域>が83.6%と続いている。(図IV-17-6)

<図IV-17-6>性別・年齢別／職業別／居住地域別

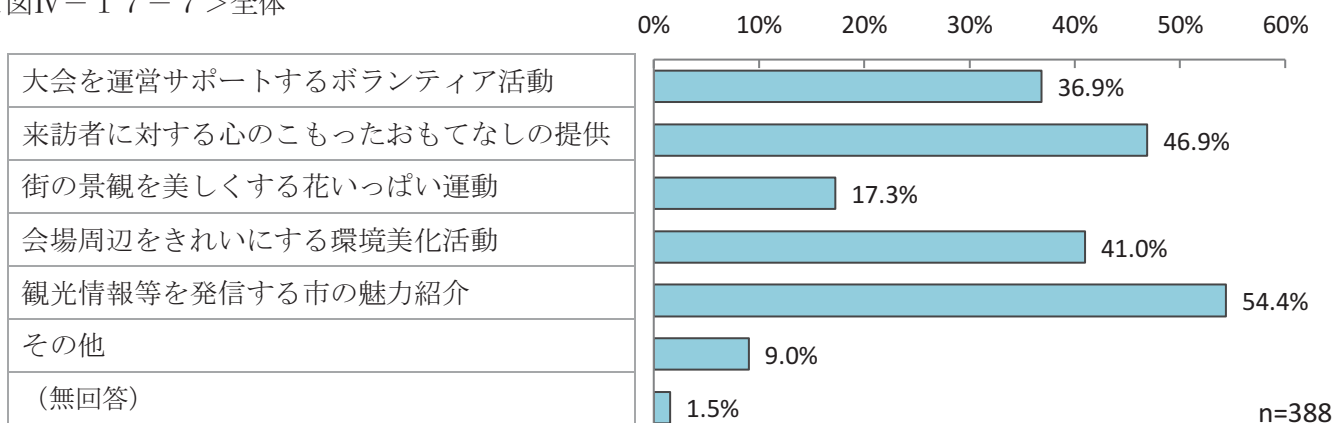


(4) 国体を盛り上げるために重要だと思うこと

◇ 「観光情報等を発信する市の魅力紹介」が5割半ば

問64	あなたは、多くの大会参加者・観覧者が来訪する国体を盛り上げるために、何が重要だと思いますか。 (〇はいくつでも)	n=388
1	大会を運営サポートするボランティア活動	36.9%
2	来訪者に対する心のこもったおもてなしの提供	46.9%
3	街の景観を美しくする花いっぱい運動	17.3%
4	会場周辺をきれいにする環境美化活動	41.0%
5	観光情報等を発信する市の魅力紹介	54.4%
6	その他	9.0%
	(無回答)	1.5%

<図IV-17-7>全体



国体を盛り上げるために重要だと思うことについては、「観光情報等を発信する市の魅力紹介」が54.4%で最も高く、次いで「来訪者に対する心のこもったおもてなしの提供」が46.9%と続いている。(図IV-17-7)

<参考>

性別・年齢別で見ると、「観光情報を発信する市の魅力紹介」は<女性/20歳代>が80.0%で最も高く、次いで<男性/20歳代>と<女性/10歳代>と<女性/30歳代>がいずれも66.7%と続いている。「来訪者に対する心のこもったおもてなしの提供」は<女性/10歳代>が66.7%で最も高く、次いで<女性/20歳代>が60.0%と続いている。(図IV-17-8)

職業別で見ると、「観光情報を発信する市の魅力紹介」は<事務・技術職>が66.3%で最も高く、次いで<学生>が63.6%と続いている。「来訪者に対する心のこもったおもてなしの提供」は<専門職>が71.4%で最も高く、<パート従事者>が55.8%と続いている。(図IV-17-8)

居住地域別で見ると、「観光情報を発信する市の魅力紹介」は<本庁(周辺)>が73.9%で最も高く、次いで<東部地域>が60.9%と続いている。「来訪者に対する心のこもったおもてなしの提供」は<本庁(周辺)>が63.0%で最も高く、次いで<北部地域>が47.5%と続いている。(図IV-17-8)

<図IV-17-8>性別・年齢別／職業別／居住地域別

